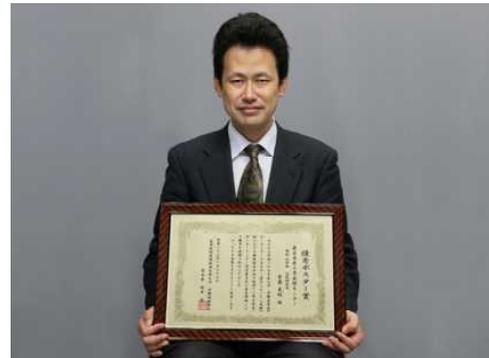


>>>> 九州・沖縄産業技術オープンデーで優秀ポスター賞受賞 <<<<

12月2日に、佐賀県のサンメッセ鳥栖にて九州・沖縄産業技術オープンデーの合同成果発表会が開催され、各方面から318名の参加がありました。

当センターからは、1件の口頭発表と4件のポスター発表を行い、食品・化学部の安藤義則主任研究員が「本格焼酎における酵母混合仕込の開発」についてのポスター発表で「優秀ポスター賞」を受賞しました。

当該研究では、従来より行われている単一酵母による醸造に対し、複数の酵母を同時に使用する混合仕込法について検討した結果、香味のバランスは従来の単独仕込では得られないものになり、各酵母の特徴を持ち合わせた焼酎ができることが明らかになりました。このことから、混合仕込法を活用することで、製造方法および品質の多様化が可能になったことについて発表しました。



>>>> 「鹿児島県のタベ」に出展 <<<<

「本物。鹿児島県」～明治維新150周年に向かって～をメインテーマに、1月22日東京プリンスホテル（東京都港区）で平成27年度「鹿児島県のタベ」が開催され、関東地区在住の薩摩大使や鹿児島県に縁のある方々約1,000名の参加がありました。

当センターは、「かごしまの焼酎づくりを支える工業技術センター～ふるさとづくり大賞受賞～」のコーナー名で出展しました。ブースでは、平成26年度に受賞したふるさとづくり大賞の関連映像を上映するとともに、センター紹介、食品関連企業への技術支援事例の紹介、当センターが開発に関わった芋焼酎および黒糖焼酎の展示および試飲を行い、多くの来場者に立ち寄っていただきました。



>>>> 地理的表示登録産品に登録（鹿児島県天然つぼづくり米酢協議会） <<<<

昨年6月に農林水産省により制定された地理的表示保護制度による地理的表示登録産品の第1回登録において、鹿児島県天然つぼづくり米酢協議会の「鹿児島の壺造り黒酢」が登録されました（全国で7品目）。地理的表示制度とは、地域で育まれた伝統と特性を有する農林水産物・食品のうち、品質等の特性が産地と結びついており、その結びつきを特定できるような名称（地理的表示）が付されているものについて、その地理的表示を知的財産として国に登録することができる制

度のことです。当センターは協議会に所属する企業に対して、製造や品質管理等について以前より技術指導や依頼試験等の支援を行っています。



>>>> 工場排水管理技術講習会を開催 <<<<

2月22日に当センターで、「工場排水管理技術講習会」を開催しました。

県内の食品工場の排水処理担当者を対象に毎年行っている講習会で、今年度は210名（115事業所）の参加がありました。講演内容は、以下のとおりでした。

- ①「水質汚濁防止法の排水基準及び特定施設等について」 鹿児島県環境保全課 前畑健太氏
- ②「鹿児島県における悪臭防止行政について」 鹿児島県環境保全課 西原和弘氏
- ③「畜産農業における悪臭問題の現状と技術開発に向けた取り組み」 畜産草地研究所 安田知子氏

- ④「畜産廃水の活性汚泥処理とメタン発酵処理について」 畜産草地研究所 和木美代子氏



>>>> 鹿児島・神奈川工業技術交流事業 <<<<

2月23日に神奈川県産業技術センターで「ろう付技術フォーラム」が開催され、生産技術部の瀬知啓久主任研究員が「セラミックスと金属の異形レーザーブレイジング」について講演しました。当センターは平成26年度より神奈川県産業技術センターと「鹿児島・神奈川工業技術交流事業」を行っており、今回はその一環として講演しました。当日は50名以上が聴講し、各講演に熱心に聴き入っていました。



>>>> 「ターレット鍛造装置」が特許登録 <<<<

県と株式会社戸畑ターレット工作所が平成26年3月24日に特許出願した「ターレット鍛造装置」が、平成28年1月8日に特許登録（特許第5861159号）されました。

本発明は、複数のダイス及び複数のパンチの中から、目標形状に成形するための鍛造工程に合致する1組を選択して鍛造加工する操作を繰り返すターレット鍛造装置を提供するものです。一台の汎用プレス機、複数のパンチ、複数のダイス、ダイスの回転機構、パンチの回転機構、打ち抜き機構、切削（穿孔）機構から構成される鍛造ダイセットの中で、「鍛造工程に応じてパンチ、ダイスを回転位置決めして逐次成形する構成」とすることで、効率的に複数の鍛造加工を実施することができ、従来技術と比較して精度向上と圧倒的低コストで鍛造品を得ることを特徴とします。



>>>> 錦江湾テクノパーククラブ例会でラボツアーを開催 <<<<

錦江湾テクノパーククラブ（KTC）の例会が2月26日に当センターで行われ、センターの概要説明と、以下の3件についてKTC会員企業との共同研究や産学官連携についての事例発表を行いました。

- ①「銅合金スクラップを再生させる脱塩技術の開発」 生産技術部 松田豪彦
- ②「局所加熱技術を用いた金属とセラミックスの接合技術開発」 生産技術部 瀬知啓久
- ③「側方照射型軟X線装置を用いた鍛造技術開発と支援事例」 生産技術部 牟禮雄二

また、ラボツアーも行い、当センターの研究設備を見学していただきました。最後に、KTC会員企業、鹿児島高専との産学官連携による共同研究について意見交換を行いました。



例会の様子



ラボツアーの様子